

平成 29 年度「心不全の在宅医療を実践できる薬剤師の育成」 講習会のご案内

【本講習会の目標】

心不全の病態、薬物治療などの知識だけではなく、治療評価に必要なフィジカルアセスメント実習や症例検討を行うことにより、心不全の在宅医療に対応できるスキルを習得する。千葉県内の薬剤師が対象。

【各回の概要】 計 7 回 時間 10:00-12:00

回	日時	講習会の内容	場所
1	5月21日(日)	オリエンテーション：本講習会について 講義：心不全の病態・症状・検査 講師：千葉大学大学院薬学研究院 高野 博之	薬学部 120 周年記念講堂
2	6月18日(日)	講義：心不全の治療 講師：千葉大学大学院薬学研究院 高野 博之	薬学部 120 周年記念講堂
3	7月30日(日)	講義・シミュレーター実習：フィジカルアセスメント 講師：千葉大学大学院薬学研究院 高野 博之 千葉大学大学院薬学研究院 関根 祐子	クリニカル・スキルズ・センター
4	9月3日(日)	演習：症例検討会① 講師：JA 北信総合病院 医師 渡辺 徳 JA 北信総合病院 薬剤師 森川 剛	薬学部 120 周年記念講堂
5	10月1日(日)	講義・シミュレーター実習：フィジカルアセスメント 講師：千葉大学大学院薬学研究院 高野 博之 千葉大学大学院薬学研究院 関根 祐子	クリニカル・スキルズ・センター
6	11月26日(日)	演習：症例検討会② 講師：自治医科大学 医師 江口 和男 自治医科大学 看護師 西田 路子	薬学部 120 周年記念講堂
7	12月17日(日)	演習：症例検討会③ 講師：ゆみのハートクリニック 医師 田中 宏和 ゆみのハートクリニック 看護師 伊東 紀揮	薬学部 120 周年記念講堂

学生も参加可能です。事前登録は不要。

連絡先 千葉大学大学院薬学研究院 分子心血管薬理学 講習会事務局
TEL：043-226-2883 E-mail：adca5260@chiba-u.jp

<講習会の内容>

・心不全の薬物治療に必要な知識・評価能力を身につける(第 1、2、3、5 回)

下記①～②の講義と実習を行う。

- ① 心不全の病態、症状、検査、治療についての最新知識を身につけるための講義を行う。
- ② 在宅心不全患者の薬物治療評価に必要なバイタルチェックとフィジカルアセスメントができるようになるための実習を行う（診察シミュレーターを使用）。

薬剤師のフィジカルアセスメントのゴールは病気の診断ができる能力をつけることではなく、治療の経過において心不全の悪化がないか、または薬の副作用が出現していないか、が理解できることとする。つまり、これまで認められなかった心音、呼吸音などが聴取されるか、全身の浮腫や頸静脈の怒張（心不全の徴候）がみられるか、などを確認でき医師に適切に伝えられる能力を身につけてもらう。

・心不全の症例検討会に参加し在宅医療の現状と問題点について討論する(第 4、6、7 回)

わが国でも在宅医療で心不全のチーム医療を実践している地区が増えつつある。実際に心不全の在宅医療を実践している医師、薬剤師、看護師などに症例を提示してもらい、現状と問題点について各職種の立場から討論してもらうほか、在宅医療を成功させるためのアドバイスについて話してもらう。また、患者情報収集や多職種連携に必要なコミュニケーションスキルについても習得する。3回の症例検討会を予定。

・在宅医療の現場で体験実習をする(在宅実習コース 20 名)

在宅医療を実践している薬剤師に同行し在宅医療の現場を体験する。また講義や実習で習得した知識やスキルが実際の現場で役立つか確認する。1人あたり1-2回の同行実習を予定。

※千葉県内で在宅医療を行っている約10ヵ所の薬局に協力を依頼しています。どの薬局の薬剤師に同行するか（薬局とのマッチング）は事務局で決めさせていただきます。

※講習会の効果を評価するために、アンケートを行うことがあります。